

# 第35期 年次報告書

2016年3月1日～2017年2月28日

INFORMATION

## WEBサイトのご案内

### クレジットカード 情報サイト

<http://www.pocketcard.co.jp>

当社クレジットカード情報サイトでは、お得なキャンペーンの紹介や各種カードのご案内、会員専用ネットサービスなど、当社のカードをお持ちのお客様、並びにカードのご入会をご検討されているお客様のお役に立つ情報を提供しています。



### 企業・IR 情報サイト

<http://www.pocketcard.co.jp/ir>

当社企業・IR情報サイトでは、ニュースリリースや最新の営業数値、CSR活動等、株主さまやその他のステークホルダーの皆さまのお役に立つ情報を提供しています。



## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月

基準日 定時株主総会 毎年2月末日  
期末配当金 毎年2月末日  
中間配当金 毎年8月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

単元株式数 100株

公告方法 電子公告  
ただし、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします

金融商品取引所 東京証券取引所 市場第1部

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

暮らしをクリエイティブに  
**ポケットカード株式会社**

証券コード 8519



本冊子は、環境保全のため植物油インキで印刷しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

暮らしをクリエイティブに  
**POCKETCARD CO.,LTD.**

証券コード：8519

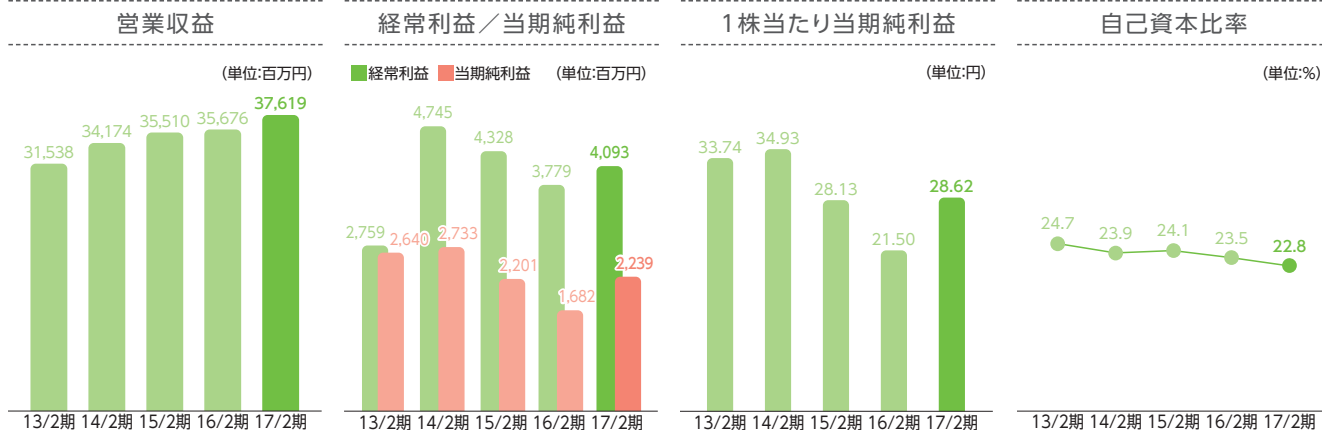
## 数字で見るポケットカード

### 経営成績

- 1 ショッピング収益の拡大により、4期連続の増収
- 2 各種販売管理費が増加するも増収が上回り、増益を達成
- 3 1株当たり配当金は、年間10円00銭で据え置き

項目	期別	第33期 (14/3~15/2)	第34期 (15/3~16/2)	第35期 (16/3~17/2)
営業収益	(百万円)	35,510	35,676	37,619
営業利益	(百万円)	4,303	3,759	4,094
経常利益	(百万円)	4,328	3,779	4,093
当期純利益	(百万円)	2,201	1,682	2,239
総資産	(百万円)	238,621	248,972	263,423
純資産	(百万円)	57,600	58,493	59,950
自己資本比率	(%)	24.1	23.5	22.8
1株当たり当期純利益	(円)	28.13	21.50	28.62
1株当たり配当金	(円)	10.00	10.00	10.00

### 5年間の業績推移



## 事業基盤拡大のチャンスをつかえ 収益・利益の持続的な成長へ

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに、厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
 中期経営計画を始動した2017年2月期は、ショッピング取扱高の伸びを受け、4期連続の増収とともに増益を果たしました。  
 以下のインタビューでは、当期の営業状況をご報告し、中期経営計画の進捗と今後の展望についてご説明いたします。  
 ご一読の上、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **渡辺 恵一**  
KEIICHI WATANABE



## ローン債権残高が順調に拡大、 増収・増益を達成。

Q 当期(2017年2月期)の営業状況についてお聞かせください。

クレジットカード業界全体を振り返ると、総量規制の影響等によるキャッシング残高の減少や、利息返還請求の高止まりの動きが続いたものの、個人消費には底堅さが見られ、前期に引き続きショッピング取扱高が順調な伸びを示した1年でした。

その中で当社は、成長戦略の中核を担うファミマTカードへの注力とともに、Tカードプラスなど他のカードについても利用拡大を図り、ショッピングリボ残高を伸ばさせました。結果として、当期のローン債権残高(ショッピングリボ残高+キャッシング残高)は1,732億円(前期比5.2%増)に達し、営業収益は期初予想を超える伸びにより、4期連続の増収を果たしました。

特にファミマTカードについては、株式会社ファミリーマートによるコンビニブランドの一本化が進められ、2016年9月よりサークルKサンクス店舗を



ファミリーマート店舗に転換する動きが開始されたことが追い風となり、新規カード会員の獲得と利用の拡大につながりました。

一方、費用面では、ショッピング取扱高の拡大に伴う連動費用の増加や、前述のファミリーマート転換店舗に対応した募集費用の増加等により、費用全体では増加しましたが、ショッピング事業を牽引役とした増収効果によりこれをカバーし、利益段階では増益を確保しました。

## ファミマTカード事業の強化など重点テーマが進展。

**Q** 中期経営計画初年度としての進捗評価はいかがですか？

2019年2月期を最終年度とする中期経営計画では、重点取組課題として「ファミマTカード事業のさらなる強化」「既存事業の安定的拡大」「サービス&オペレーションの競争力強化」「持続的成長を

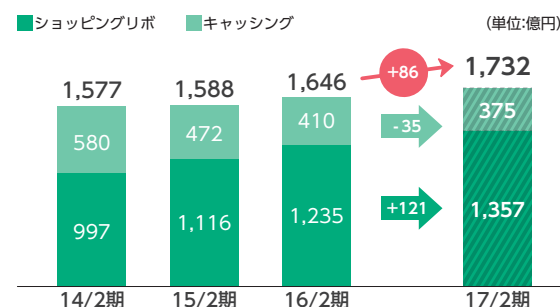
現するための体制強化」の4つを掲げています。計画初年度の当期は、各テーマにおいて着実に前進し、持続的な成長に向けた足掛かりを築くことができたと考えています。

「ファミマTカード事業のさらなる強化」については、会員募集が順調に推移し、下期からはサークルKサンクスからの転換店という募集チャネルの拡大も相俟って、会員基盤の増強およびショッピングリボ残高の積み上げを果たしました。

同時に「既存事業の安定的拡大」についても、Tカードプラスを中心に既存カードの募集を推進し、ショッピングリボ残高を大きく伸ばすことができました。キャッシング残高の減少傾向も徐々に落ち着きが見られ、改善に向かいつつあります。

### ローン債権残高の成長

ローン債権残高は継続的な増加基調、  
足許で伸びが加速



「サービス&オペレーションの競争力強化」では、ユーザーの利便性を高め、利用拡大につながる新サービスの導入準備を進めてきました。その成果として、2017年2月に「会員専用ネットサービス」のリニューアル、2017年3月には当社発行クレジットカードのApple Payへの対応を開始しました。

「持続的成長を実現するための体制強化」では、独立役員2名を含む社外取締役4名の選任や、独立役員が委員長を務めるガバナンス委員会の設置などの整備を進め、コーポレートガバナンスのさらなる充実に努めました。

### 中期経営計画

#### 重点取組課題

- ファミマTカード事業のさらなる強化
  - ① 会員基盤の増強
  - ② ショッピングリボ残高の着実な積み上げ
- 既存事業の安定的拡大
  - ① ローン債権残高の反転・積み上げ
  - ② 新規営業基盤の開拓
- サービス&オペレーションの競争力強化
  - ① 高付加価値商品・サービスの創出
  - ② 業務品質の継続的向上
- 持続的成長を実現するための体制強化
  - ① コーポレートガバナンス体制の充実
  - ② コンプライアンス体制の継続的強化

#### 定量目標

	2019年度2月期
営業収益	400億円
経常利益	80億円
当期純利益	50億円
R O E	8%

## トップラインを大きく伸ばすことで利益成長を実現。

**Q** 今期(2018年2月期)の課題と見通しを教えてください。

中期経営計画では、計画の最終年度である2019年2月期において、「営業収益400億円」「経常利益80億円」「当期純利益50億円」「ROE8%」を定量目標に掲げており、計画2年目となる今期は、目標達成に向けて一段と高い利益成長が求められます。

そのための取り組みとして、引き続き堅調なショッピングリボを牽引役に、ローン債権残高の拡大を

進めていきます。具体的には、ファミマTカードおよびTカードプラスを中心に、新規会員の拡大によるリボ利用者の増加、並びに途上与信精度の向上による単価の向上を図っていく考えです。また、キャッシング残高については、依然として減少が続いておりますが、その減少幅は徐々に縮小してきており、中期経営計画期間中における残高の底打ちを目指します。

また、目下行われているサークルKサンクス店舗のファミリーマート店舗への転換は、2019年2月までに全店の転換が予定されており、今期もハイペースでの転換が進められる予定です。当社においては、2016年9月の名古屋オフィスの開設や担当部門の要員拡充、募集スタッフへの教育、研修の強化など、万全の体制でこれに対応すべく、募集体制の継続的な強化を進めていきます。サークルKサンクス転換店への対応は中期経営計画の策定時に想定していなかった要素ではありますが、営業基盤の拡大につながる大きな機会として全力で取り組んでいく考えです。

#### ■ 2018年2月期 業績予想

営業収益	388億円
経常利益	53億円
当期純利益	34億円

## 今後の成長戦略を支える 取り組みが着実に進展。

### Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

サークルKサンクス転換店による営業基盤の拡大、ショッピングリボの持続的成長、キャッシング残高の減少幅縮小、利息返還請求の減少の兆しなど、当社の成長戦略を支える取り組みは着実に進展し、これまで当社を悩ませてきた問題は改善の方向に向かってきております。

株主の皆さまにおかれましては、これからの当社事業の成長にご期待いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、これからの当社事業の成長にご期待いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 「会員専用ネットサービス」を大幅リニューアル

当社は2017年2月に会員専用WEBサイト「会員専用ネットサービス」をリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、ご利用される会員の皆さまがより快適にサービスをご利用いただけるよう、トップ画面の内容の充実やスマートフォンに最適化された画面デザインへの一新、ご利用代金明細書の照会やポイント交換など、ご利用の多いサービスの機能拡充を図りました。今後も当社は、お客様の暮らしに密着した付加価値の高いサービス・商品の提供、利便性向上に努めてまいります。

リニューアル  
ポイント

1. トップ画面の内容を充実
2. スマートフォンで見やすく
3. ログインページを統合
4. ポケット・ポイントの照会・交換が便利に
5. ご利用代金明細書の照会機能を拡充
6. 「ネットキャッシング」サービスを開始



## Apple Payへの対応を開始

当社は2017年3月よりApple Payでのお支払いへの対応を開始いたしました。Apple Payは対象のiPhone、Apple Watchにクレジットカードを設定することで、安心・安全・スピーディーにお支払いができるサービスです。今回のApple Payの対応開始により、当社が発行するMastercard、VISA、JCBが付帯された全てのクレジットカードでApple Payがご利用いただけるようになりました。

当社は「暮らしをクリエイティブに」を合言葉に、お客様の暮らしに密着したサービス・商品の提供に努めてまいります。



## 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

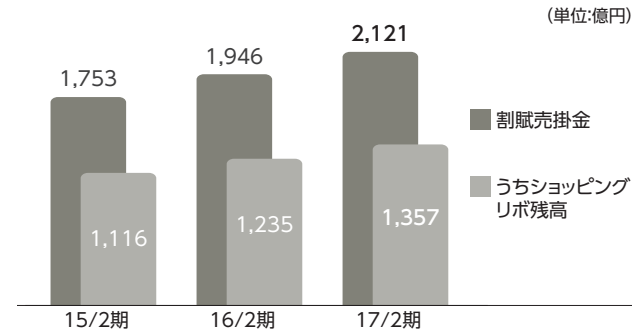
科目	第34期 2016年2月29日現在	第35期 2017年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>240,418</b>	<b>254,902</b>
現金及び預金	8,191	8,976
割賦売掛金	194,640	212,145
営業貸付金	41,060	37,513
その他	9,730	9,058
貸倒引当金	△13,204	△12,792
<b>固定資産</b>	<b>8,553</b>	<b>8,521</b>
有形固定資産	355	299
無形固定資産	4,019	3,644
投資その他の資産	4,178	4,577
<b>資産合計</b>	<b>248,972</b>	<b>263,423</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>73,591</b>	<b>76,801</b>
<b>固定負債</b>	<b>116,887</b>	<b>126,671</b>
<b>負債合計</b>	<b>190,479</b>	<b>203,473</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>58,493</b>	<b>59,950</b>
資本金	14,374	14,374
資本剰余金	15,816	15,816
利益剰余金	29,603	31,060
自己株式	△1,300	△1,300
<b>純資産合計</b>	<b>58,493</b>	<b>59,950</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>248,972</b>	<b>263,423</b>

※記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

### POINT 割賦売掛金

ファミマTカード、既存カードの両面からショッピング取扱高が拡大し、ショッピングリボ残高も順調に増加した結果、割賦売掛金は前期末比175億4百万円増の2,121億45百万円となりました。

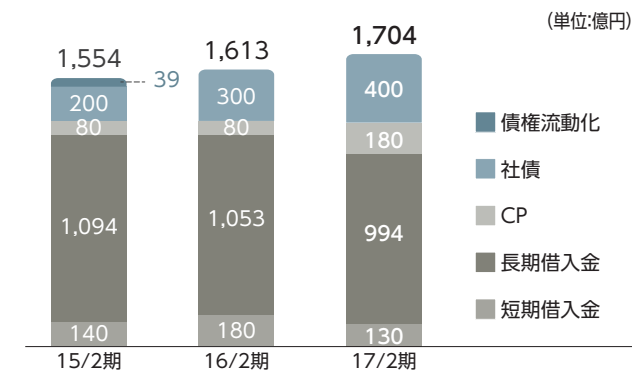
#### 割賦売掛金の推移



### POINT 有利子負債

資金調達の安定化を目的に、社債の発行等資金調達手段の多様化を図っています。

#### 有利子負債の内訳



## 損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

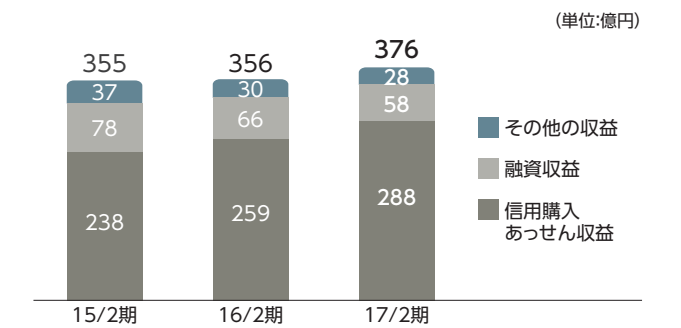
科目	第34期 2015年3月1日から 2016年2月29日まで	第35期 2016年3月1日から 2017年2月28日まで
<b>営業収益</b>	<b>35,676</b>	<b>37,619</b>
信用購入あっせん収益	25,943	28,894
融資収益	6,641	5,874
その他の収益	3,091	2,850
<b>営業費用</b>	<b>31,916</b>	<b>33,524</b>
販売費及び一般管理費	30,650	32,419
<b>金融費用</b>	<b>1,265</b>	<b>1,105</b>
<b>営業利益</b>	<b>3,759</b>	<b>4,094</b>
営業外収益	29	21
営業外費用	9	22
<b>経常利益</b>	<b>3,779</b>	<b>4,093</b>
特別利益	9	—
特別損失	26	—
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,762</b>	<b>4,093</b>
法人税等	2,079	1,854
<b>当期純利益</b>	<b>1,682</b>	<b>2,239</b>

※記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

### POINT 営業収益

キャッシング残高の減少に伴う融資収入の減少及びその他の収益の減少がありました。ショッピングリボ残高の順調な拡大により信用購入あっせん収益が大幅に増加した結果、営業収益全体では前期比5.4%増の376億19百万円となりました。

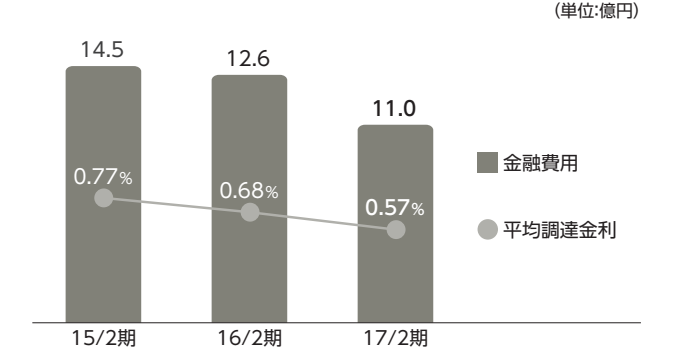
#### 営業収益の内訳



### POINT 金融費用

当社経営基盤の安定化並びに市場金利の低下による調達金利の低下等により、前期比12.7%減の11億5百万円となりました。

#### 金融費用/平均調達金利



会社概要 (2017年2月末日現在)

社名 ポケットカード株式会社  
 英文名 POCKET CARD CO.,LTD.  
 本店所在地 〒105-0014 東京都港区芝一丁目5番9号  
 電話番号 03-5441-3450(代表)  
 ホームページURL http://www.pocketcard.co.jp  
 設立 1982年5月25日  
 資本金 143億74百万円  
 従業員数 365名  
 事業内容 ・クレジットカード事業 ・融資事業  
 ・保険代理店事業 ・その他

役員の状況 (2017年5月26日現在)

代表取締役社長 渡辺 恵一  
 取締役副社長 杉原 弘隆  
 取締役兼専務執行役員 塚本 良輔  
 取締役兼常務執行役員 淵本 泰生  
 取締役 長谷 一雄  
 取締役 加藤 修一  
 取締役 玉巻 裕章  
 取締役 横山 友之  
 常勤監査役 佐野 秀一  
 監査役 山下 泰子  
 監査役 木島 賢一  
 監査役 齋藤 泰壽  
 常務執行役員 今里 賢治  
 常務執行役員 湯村 雅喜  
 執行役員 小林 直人  
 執行役員 林田 義典  
 執行役員 落合 英幸  
 執行役員 池田 一彦  
 執行役員 永田 昌宏  
 執行役員 五十嵐 光樹  
 執行役員 山岡 隆  
 執行役員 竹村 隆之

(注)1.取締役長谷一雄、加藤修一、玉巻裕章及び横山友之は社外取締役です。  
 2.監査役佐野秀一、山下泰子、木島賢一及び齋藤泰壽は社外監査役です。

株式情報 (2017年2月末日現在)

発行可能株式総数 158,150,000株  
 発行済株式の総数 79,323,844株  
 株主数 15,553名

大株主の状況 (2017年2月末日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(株)三井住友銀行	27,788	35.03
伊藤忠商事(株)	21,130	26.64
(株)ファミリーマート	11,739	14.80
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	2,646	3.34
日本マスタートラスト信託銀行(株)	1,242	1.57
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/HENDERSON HHF SICAV	1,118	1.41
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	422	0.53
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	406	0.51
JP MORGAN CHASE BANK 385640	368	0.46
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	360	0.45

※1. 上記のほか、自己株式が1,073千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合1.35%)あります。  
 ※2. 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。  
 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 2,646千株  
 日本マスタートラスト信託銀行(株) 1,242千株

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式の投資魅力を高めることを目的に、株主優待制度を導入いたしております。

①優待の内容

所有株式数	優待内容
100株以上 200株未満	QUOカード 800円分
200株以上 1,000株未満	QUOカード 1,500円分
1,000株以上 2,000株未満	QUOカード 3,000円分
2,000株以上	QUOカード 4,500円分

②対象となる株主様

毎年2月末日時点の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上の株式を保有する株主様

③贈呈の時期

毎年1回、5月下旬にQUOカードを贈呈

【株主優待制度に関するお問い合わせ先】

ポケットカードお客さまセンター

[受付時間] 9:00~18:00/年始休業

●携帯電話から: 0570-064-373

●携帯電話以外から: 0120-12-9255

※一部の電話機からはご利用いただけません。

IRカレンダー

